

あおとあおとしろとおきなわ
Hope & Wish
 Vacation House 青と碧と白と沖縄

施設概要

Hope&Wish バケーションハウス「青と碧と白と沖縄」

施設名称：ホープアンドウィッシュ バケーションハウス あおとあおとしろとおきなわ

開業：2020年3月15日

所在地：沖縄県国頭郡恩納村字真栄田3537-2

計画地敷地面積：1,220.20m²(約370坪)

建物延床面積：317.50m²(約97坪)

交通(アクセス)：那覇空港より車で約80分

客室数：4室 その他会議室、多目的室、キッチン、貸切浴場

管理運営：公益社団法人 難病の子どもとその家族へ夢を



設計&施工管理

株式会社NAP建築設計事務所

地域の風土や産業、敷地の地形や自然、そこで活動する人々のふるまいや気持ちに寄り添う設計をモットーとしている。

〒108-0072 東京都港区白金5-6-18

代表 中村 拓志

施工

旭建設株式会社

地域に愛され続けることが、創業以来の理念です。

〒904-0112 沖縄県中頭郡北谷町浜川48番地

代表取締役 翁長 淳

資金支援



公益社団法人
日本歯科医師会

Supported by
THE NIPPON FOUNDATION

団体概要

社名 公益社団法人 難病の子どもとその家族へ夢を
 設立 2010年3月 一般社団法人設立
 2012年11月 公益社団法人認定(内閣府)
 米国フロリダ州非営利慈善団体
 「ギブ・キッズ・ザ・ワールド」認証姉妹団体



ミッション 難病を患う子どもとその家族との永続的な交流をもとに、"家族""いのち""しあわせ"を社会で共に育み合う場を創出します。この活動によって、女性力の向上、少子化社会対策、ダイバーシティ対策、クオリティー・オブ・ハピネス(QOH)の価値観の創出を促すことを目的としています。

- 活動内容
- ウィッシュ・バケーション(旅行中の社会的ケアや金銭面も含め、難病を患う子どもとその家族全員に楽しんでいただくバケーション)の実施
 - ご家族のレスパイト(休息)のための施設「Hope&Wish/バケーションハウス【青と碧と白と沖縄】」の管理運営
 - 当団体の活動に参加されたご家族の姿を描いたドキュメンタリー映画『Given～いま、ここ、にあるしあわせ～』の企画・製作及び上映
 - 当団体の活動に参加された母たちによる女性と太鼓奏団「ひまわりのやうに」運営支援
 - 当団体の活動経験を活かした小児訪問看護ステーション「ダイジョブ」の管理運営
 - 故日野原重明先生追悼プロジェクト「いのちの授業」の実施運営
 - 難病の子どもと家族へ就労支援をする、職業紹介事業所「出番です!」の管理運営

代表 大住 力(元・株式会社 オリエンタルランド)
 所在地 〒104-0042 東京都中央区入船2-9-10 五條ビル 4A
 永久最高顧問 日野原 重明(元 圣路加国際病院 名誉院長)
 連絡先 TEL » 03-6280-3214 FAX » 03-6280-3215
 ※2017年7月逝去 享年105歳
 URL » <https://www.yumewo.org/>
 顧問 一橋大学 名誉教授 野中 郁次郎
 Email » info@yumewo.org
 アドバイザー 聖路加国際病院 特別顧問 細谷 亮太 ほか

Hope & Wish
 Vacation House

あおとあおとしろとおきなわ
青と碧と白と沖縄



2020年3月15日 GRAND OPEN



公益社団法人
難病の子どもとその家族へ夢を

青と碧と白と沖縄

Why?

現在、医療や機器の進歩により、これまでであれば命を落としていた赤ちゃんを救うことができるようになりました。その一方、医療的ケア児は増加しています。在宅医療において家族の負担は24時間365日続けます。看護のほとんどが「母」であり、母親自身の身体的・精神的健康はもちろん、孤立化していくことで社会的健康が損なわれるケースが多く見受けられます。そうした中で、病児のみならず、家族全員が笑顔を取り戻せる場。経済的精神的にも負担やストレスの少ない、家族全員が心からリフレッシュできる場。一過性のサービスではなく、永続的に支援できる場。家族にとって当たり前のことが当たり前にできる環境や社会的健康を促進するコミュニティーの場。「青と碧と白と沖縄」は、そんな場所でありたいのです。

Location 1

沖縄県恩納村真栄田。沖縄でも有数のリゾート地区恩納村を走る、県道6号線から一本入った高台の立地。静かで大きな自然と隠れた名店やスポットも。

ロケーション



Design & Arch. 2

中村 拓志 HIROSHI NAKAMURA



日本を代表する建築家・中村拓志が手掛ける“沖縄の自然を感じる”デザイン&アーキ。地域の固有性や利用者にとことん寄り添う姿勢は“そこにしかない”ものを生みます。

○ ○ ○ ○
○ ○ ○ ○ ○ ○
○ ○ ○ ○ ○ ○ ○
○ ○ ○ ○ ○ ○ ○

株式会社NAP建築設計事務所

建築家 中村拓志(なかむらひろし)

1999年明治大学大学院理工学研究科博士前期課程修了。
同年隅研吾建築都市設計事務所入所。
2002年にNAP建築設計事務所を設立し、現在に至る。
主な受賞歴に日本建築家協会賞、JIA環境建築賞、BCS賞、リーフ賞最高賞、
アルカシア建築賞ビルディング・オブ・ザ・イヤーなどがある。

狹山の森 礼拝堂

Ribbon Chapel

東急プラザ表参道原宿



代表作品

6つの ポイント



レスパイト(一時休息)

難病を患う子どもとその家族のために。

先の見えない難病と向き合う毎日。

子どもを先に送った母や父の、何かぽつかりと空いた日常。

そんな毎日や日常から離れる大切な時間。

レスパイト(一時休息)の場。

「大丈夫、独りじゃない」

3 Respite



Remember 想 & Return 動 4

社会やいま、を育む家族のために。日常の忙しい毎日を離れて、これまでの“いのち”を改めて静かに想い、魅づめ、整理して、これからのかの“生きる”を胸に、その一步を動き始めるきっかけをここで。あなたが、「あなた」に還る場。

Grand Floor 1階 5

4室の客室と自然と一体化した貸切風呂。そして社会と繋がる場のリビング&朝食&BARルームやマインドフルネスに適した風と出逢う広場など、こじんまりの中にふかみのある空間が、あなたを迎え入れます。

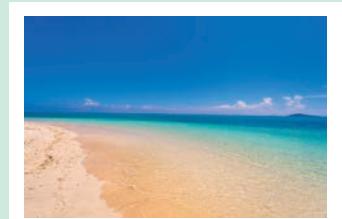


Second Floor 2階 6

「外」へ出ようよ!がテーマ。青と碧、白の沖縄の空、海風、波音、雨…を全身で感じながら、ただただ「あなた」と「いま、ここ」を想う場です。独り、蚊帳の中でゆらゆらと身を委ねて。また、皆で一緒に、輪になって灯りを魅づめながら、語り合って。

Concept

医療施設や特別支援施設ではありません。その代わりに…毎日の生活を離れて。



「静と動」の時間。目覚めは「静」から。お寺の「お勤め」ではありませんが「静」のプログラムを。サンセット前後の時間は…少しだけ「動」のプログラムもご用意しています。



地元近港での定置網漁ツアーや「島人」沖縄ならではの日の出、日の入りツアーや、また、沖縄の静かな海プライベートビーチツアーもあります。



ユニバーサルデザインもフルサービスも敢えて止めました。その代わりに…目の前の人人が、人たちが、ひと声や手が差し出されます。



「時間」によって変わるサウンドプログラム。軽快なスチールドラムやボサノバのサウンド…夜は沖縄琉球の響きやリズム&ブルースも